

気はやさしくて力持ち！

## 蚕桑小学校校内相撲大会



6月9日、蚕桑小学校で校内相撲大会が行われました。昭和56年から続くこの大会は今回で31回目。化粧回しを付けた東西横綱の土俵入りや弓取り式では、会場にかけつけた保護者や先生から「ヨイショ！」という大きな掛け声もあがっていました。取組の結果に、悔し涙やうれし涙を流す子ども、それを励ます子どもたちの姿もみられ、相撲以上に子どもたちの心を大きく成長させる行事だなと感じさせられました。

## ハウス内は歓声と笑顔がいっぱい どりいむ農園でいちご狩り体験



6月13日から17日まで、どりいむ農園いちごハウスで、町内保育園児によるいちご狩り体験が行われました。地元のいちごを子どもたちに味わってもらいたいという思いから、どりいむ農園オープン以来、毎年町内全保育園を招待し実施されている事業です。子どもたちは、ハウス内に広がる甘い香りに少し興奮した様子で、大きないちごを頬張っては「あまくておいしい！」と喜んでいました。

養蚕文化を継承する  
蚕を迎える式



6月10日、蚕桑小学校で蚕を迎える式が行われ、養蚕農家の布川さんから3年生24人に約2000匹の蚕が渡されました。式には地元の「蚕の先生」6人も参加し、これまでの養蚕文化や蚕の生態などについて説明を受けると、子どもたちは蚕にそっと手を伸ばして触ったり、じっと見つめたり、蚕に興味津津の様子でした。繭になるまでの約1カ月間、子どもたちは土日も当番でエサ(桑)やりなどをするというのです。

## 東日本震災にも負けず ソフトボールで交流



6月11日、町ソフトボール場で宮城県岩沼市のシニアチームと白鷹エンゼルスの交流試合が行われました。平成9年に開催されたねりんピック山形大会で、宮城県代表として白鷹町を訪れたのが縁で、毎年お互いの会場で交流試合を行ってきました。今回の震災で岩沼市のソフトボール場も被害にあっており、なんとか元気を出してほしいという思いで実施されました。試合後は、手打ちそばなどで交流を深めました。

## 鷹山小伝統行事 百人一首カルタ大会

6月20日、鷹山小学校で創立記念式の百人一首カルタ大会が行われました。

子どもたちはこの日のために、6月上旬から中間休みや放課後に百人一首の暗唱に取り組んだそうです。また、学校全体で朗詠強化週間なども設定し本番を迎えました。先生や保護者などが見つめる中、読み手が読み始めるとすぐに「ハイッ！」という掛け声とともにカルタを取る子どもたちもいました。

この大会は、創立記念式典後の恒例行事となっており、今回が14回目です。

